

## ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟  
両丹支部長 渡利 謙太郎  
(京都府立峰山高等学校長)

平成25年度京都府高体連両丹支部長の大役をお引き受けすることになり、そして同時に京都府高体連副会長も務めさせていただくことになり、早1年が過ぎようとしています。当初はその職責の重さに不安を感じるところでありましたが、渡邊孝会長をはじめ多くの皆様の格別の御配慮御協力をいただき、何とか本年度の任務を無事に終了させることができました。あらためて御礼申し上げます。

同時に、今年度両丹支部関係の事業につきましても、大きな行事であります両丹高等学校総合体育大会、両丹高等学校駅伝競走大会に加え、すべての専門部の大会や行事等が両丹支部役員、各専門部の顧問、また各校の保健体育科の多大なる尽力によって無事に終了しましたことに厚く感謝申し上げます。

さらに、今年度は近畿高等学校駅伝競走大会が京丹後市網野町で開催されることとなり、直接両丹支部の事業ではありませんでしたが、準備や運営を担当した両丹陸上専門部は勿論、多くの学校、先生方、生徒に協力を得て、初めての開催の中、無事に成功裡に終えることができました。慣れない中で、コース設定、選手応援団の宿泊所の確保、地元の多数のボランティアの要請等多くの苦労があったことと思います。地元開催ということで京都府の出場チーム枠が増やされ、地元の網野高校、宮津高校、綾部高校の各チームが男女ともに出場でき、地元地域の熱い声援を受けてレースをしたことも大きな収穫であったと考えます。

さて、今年度も両丹地域の高校生の活躍は目覚ましいものがありました。まずは、団体競技では福知山成美高校野球部が、夏、春連続で甲子園出場（全国高等学校野球選手権大会、全国選抜高校野球大会）を果たしました。他にも団体での全国大会出場は、網野高校新体操（全国選抜）、東舞鶴高校ボート男子（インターハイ6位）・ボート女子（全国選抜）、綾部高校男子ソフトボール（インターハイ3位）、工業高校アーチェリー男子（インターハイ）、福知山成美高校ソフトテニス女子（インターハイ）、京都共栄学園高校柔道（国体4位）などがあげられます。

また、特筆すべき個人では、加悦谷高校のウエイトリフティング部糸井美奈未さん（全国女子大会69kg級1位）、瀬野郁希君（インターハイ105kg級スナッチ1位）、本田大智君（国体77kg級1位）、海洋高校のレスリング部今井栞海さん（世界カデット選手権60kg級3位）、西舞鶴高校バレーボール部井上愛里沙さん（世界ジュニア選手権2位）、福知山成美高校ビーチバレーで石坪聖野さん（U21アジア選手権2位）、北村咲幸・若井衣有さん（マドンナカップジャパンジュニア選手権優勝）、京都共栄学園高校柔道部梅北亘君（世界カデ柔道選手権5位）などがあげられます。

さらに全国高校定時制通信制体育大会に、4種目（陸上競技男女・卓球男女・ソフトテニス女子・バドミントン男女）5校14名が出場するなど、多くの選手が活躍しました。

このような選手の活躍は、他の選手にとって大きな励みになると同時に両丹地域の競技スポーツ全体のレベルアップにつながり、大変喜ばしいことです。これも日頃から熱心に指導いただいている顧問の先生方をはじめ、学校、保護者、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

一方、生徒数の減少による部員数の減少や部活動の加入率が低下傾向にあるのは大きな課題です。2020年に東京でオリンピックが開催されるという明るいニュースが、今後スポーツや体育に対する関心や意欲を高め、少しでもそういう課題が解決に向かうこと、また現場は現場としてスポーツ振興にさらに尽力していただけるものと期待をよせるものです。

結びに、来年度も変わらない皆様の御理解御協力をいただきますことをお願いし、御挨拶とさせていただきます。